

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 9 月

作成者：(株)エックス都市研究所

	【施設名称】 飯田市堆肥センター
	【事業主体】 長野県飯田市
	【所在地】 長野県飯田市
	【運転開始年】 平成 15 年
原材料および利用量	市内の家庭生ゴミ(131t/年)、家畜排泄物(4,042t/年)、きのこ廃床(656t/年)
生産物(種類)	堆肥(813t/年)
利用方法	販売
導入目的・経緯	<p>家畜排泄物、菌茸栽培の廃床及び家庭生ゴミから堆肥を製造。ペレットストーブの導入、普及とペレット製造開始。</p> <p>平成8年4月に策定した第4次飯田市基本構想・基本計画を基に、めざす都市像として「環境文化都市」を掲げ循環型まちづくりに取り組む。市内のきのこ栽培農家から発生する廃床を適正に処理するため、平成15年9月にきのこ廃床活用施設がJAにより建設され、利活用を実施している。家庭生ゴミ、家畜排泄物、きのこ廃培地を原料にしたリサイクル堆肥の生産施設である飯田市堆肥センターを平成16年に建設し、域内循環型農業を推進している。</p> <p>また、平成13年～14年度に市内の小中学校、公立保育園には生ゴミ処理機を導入し、給食の食品残渣の堆肥化を推進している。平成16年度に小中学校を始めとした公共施設にペレットストーブ(41台)、ペレットボイラー(1台)を導入し、木質バイオマスの利活用を実施している。</p>
設備仕様	
稼働状況	
経済性関連データ	
導入効果	
運営上の課題	
備考・参考資料	JORA 社団法人日本有機資源協会 利活用最良表彰 17年